

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（4月定例会）会議録
開催日時	平成21年4月14日（火曜日）14時00分から15時45分まで
開催場所	保谷庁舎4階第4会議室
出席者	委員：小川議長、松本副議長、有澤委員、岡村委員、瀧島委員、橋本委員、濱崎委員、本田委員、松嶋委員、宮崎委員、（五十音順）（欠席）高谷委員、山田委員 事務局：波方社会教育課長、下田社会教育係長、神田主査
議題	(1) その他 (2) 西東京市教育計画について
配布資料	1平成21年度西東京市教育委員会の教育目標（主要施策） 2西東京市教育計画（平成21年度～平成25年度）全体イメージ図 3西東京市生涯学習推進計画（平成21年度～平成25年度）施策体系図 東京都における「地域教育」を振興するための教育行政の在り方について - 社会教育行政の役割を中心に - 第二次答申（平成20年12月東京都生涯学習審議会） みんなの生涯学習 N095
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>・議長：開会宣言 平成21年2月定例会議の会議録を確認、訂正後承認する。</p> <p>事務局からの報告事項</p> <p>事務局より貝塚委員の辞任について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月31日付で貝塚委員が辞任された。後任については、残任期間が3カ月ということなので不補充となり、1名欠員となっている。 <p>社会教育課長より人事異動について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石崎係長が退職し、後任に下田係長が着任した。 ・教育委員については、4月から定数6名のところ3名欠員となっており、教育長が不在のため教育部長が教育長職務代理者となっている。 <p>(1) 諸報告・その他 平成21年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会への参加について</p> <p>・日時 4月18日(土曜日)午後1時～</p>	

- ・場 所 清瀬市児童センター ころぼっくるホール
- ・内 容 研修会「青年期の諸問題、われわれ世代に問いかけるもの
～カウンセラーからみた地域社会の果たす役割～」
- ・講 師 原田千恵子（明治大学学生相談室事務長・カウンセラー）
- ・参加予定 小川委員、有澤委員、松本委員

社会教育指導者研修会(3月19日)の報告について

- ・日 時 平成21年3月19日（木曜日）午後2時～4時
- ・場 所 保谷庁舎 4階研修室
- ・内 容 「地域教育力における社会教育の役割について」
- ・講 師 上 田 幸 夫 氏（日本体育大学教授）
- ・参加者 小川委員、松本委員、有澤委員、岡村委員、瀧島委員、橋本委員、濱崎委員、本田委員、宮崎委員、他関係者 計19名
- ・役割分担 司会...橋本委員、主催者挨拶...議長 受付...濱崎委員・橋本委員
質疑応答進行...司会

委員：他の行政委員の参加もあり、質疑等活発に意見が出されてよかった。

(2) 西東京市教育計画について

事務局より、配布資料について説明。

・平成21年度からの5カ年計画で、教育計画と生涯学習推進計画がそれぞれ策定された。今年度6月中旬を目途に印刷製本する予定。今回は、各計画についての主な施策体系の資料を配布した。主要施策については、「平成21年度西東京市教育委員会の教育目標（主要施策）」で確認していただきたい。

<主な意見等>

議長：今年度社会教育行政の今後の方向性に係る計画が策定された。その内容を踏まえながら、今後の社会教育行政の課題等について意見交換をしたい。

委員：生涯学習推進計画の施策「生涯学習情報総合窓口の開設」はどこが中心になってやるのか。

事務局：前期計画期間では、生涯学習情報提供システムの構築が先送りになったため、システムで整備された情報を活用する情報センターの開設は未実施となった。今期の計画では、現在庁内にある情報収集提供の機能を活用した窓口機能の整備ということで、どこがその機能を果たしたらよいかも含め、社会教育課を中心に調整していくことになると思う。

委員：計画策定後も、計画施策の進行管理を行う組織として「生涯学習推進懇談会」が設置される。松嶋委員が懇談会に参加しているので、計画事業の推進状況について随時報告をしていただき、懇談会を通じて意見を上げていけると思う。

委員：文化・スポーツ行政が市長部局に移管したら社会教育課はどうなるのか。

事務局：移管についての検討はされているが、その後の教育委員会の組織についても検討することになっている。

委員：文化・スポーツ行政が市長部局に移管されたら、関連施策が縮小されていくのではないかという危惧がある。組織の見直しが市民にとって良いものになるよう慎重な検討をお願いしたい。

委員：NPOと社会教育の関係はどう考えているのか。

事務局：市としてもNPO等市民活動団体との協働推進施策を展開している。社会教育行政としては、NPOも含め市民団体の学習活動が深まるような支援を行い、地域の中での市民と団体をつなげていくという視点を持った施策を展開していくことになると思う。

委員：地域生涯学習事業は係わる人が同じで、負担が多くなり年々実施事業数が減少傾向にあるのではないか。事業で活用できる人材情報も少ないので事業を企画するのも大変になっている。事業企画担当者についてはボランティアの部分が大きいので、謝礼金等への不公平感もあるようだ。事業数が減少すると地域活動に市民が係わる機会が少なくなる。地域のつながりが希薄になり問題だと思う。

委員：発足当初はそれなりに事業ができていても、年々担い手の広がりがないと事業を縮小せざるを得ない状況になっている。

委員：事務局から祭りのようなイベントや同じ事業を続けてやることは望ましくないという方針が出されているいるが。

事務局：地域生涯学習事業の実施にあたっては、地域での生涯学習活動を活性化するためのきっかけづくりという視点を持っていただきたいというお願いをしている。そのため、同一事業の継続については個々の事業の成果と目的等を聞きながら、工夫や変更をお願いすることがある。

委員：地域によっては、育成会やふれあいのまちづくり住民懇談会などの地域の組織と連携して防犯や防災などの事業を展開しているようだ。

委員：他の運営協議会がやっている地域生涯学習事業を参考にして事業を企画していくことができたら良いが。

事務局：運営協議会同士が情報交換等をする資料として、実施予定の事業一覧を5月頃に各運営協議会に配布している。

委員：遊び場開放の利用人数が少ないという現状があると思うが、利用状況に合わせて団体活動で利用できるよう考えられないだろうか。

委員：遊び方を知らない子どもが多いので、校庭を開放してもなかなか利用率はあがらないと思う。他区では、遊び場へのプレイリーダーの配置やベビーシッターのいる公園など、様々な工夫がされている。

委員：下保谷児童館の建替えについては図面等ができているのか。

事務局：次回担当課に確認して報告します。

委員：図書館は、図書資料をICタグ管理にして職員数の減を図ったようだが、そういったシステムの導入後のトラブル対応もあり、職員の業務は軽減されていない感じがする。西東京市の図書館活動は非常に充実していると思うので職員体制を確保して欲しい。

議長：次回また継続して意見交換を行いたい。

以上で本日の社会教育委員の会議（4月定例会）は終了する。

次回会議 平成21年5月12日（火曜日）午後2時から